四季の歌

心映の投句

俳句・短歌教室の詠歌紹介

はな・蕗の薹句会　池田一歩選

寝転んで彼方にかゝる盆の月　松本　三男
夏休み湯浴みの孫の九九の声　山本ひろし
大胆な脚線まぶし娘らの夏　香月　眸
幾万の稲の花揺れ浅黄空　高津　澄子
新涼や分身の杖つひ忘れ　熊谷カツミ
ど忘れに時間を取られ秋の風　本島真知子
思ひ出の今なつかしき盆踊　桑野　園女
待ちわびし秋の訪れ風清し　井上タミ子
過ぎし日をホ句にとゞめて人の秋　永末　公恵
残されし余生を写経虫しぐれ　日高八重子

福智町金田公民館俳句教室　岩井鬼童選

出校日晩夏の色に児らの顔　建部三由紀
初秋やよき水音の峡に棲む　松岡　蔦枝
梨剥きて流るる雫啜りけり　西田　真美
読み耽ける秀句選集虫の夜　長副美恵子
昼寝覚あの世この世を往き来して　仲谷ひろえ
ペアルック愛の歩巾も爽やかに　今井三千代
夜のしじま広げてをりぬ虫時雨　山本　空木
我が子なり祭り法被のいい男　加藤きみ子
祈る掌の皺の深さよ原爆忌　小野　美幸
大暑かな水に酢をたし畳拭く　日比生利子

ともしび短歌会短歌詠草

夏の朝畑のバケツに命ありおたまじゃくしに水をとらるる　白石　清和
独り身の媼の植えし茄子の苗花ふたつ見ゆ雑草の中に　高村　三也
熱帯夜の明くれば鳴きだす蝉の声浅き眠りの耳に泌み入る　越智　早苗
戦没者いたみて黙祷ささげたり正午を告ぐる童謡聞え来　村上　美幸
ロンドンのオリンピックのメダリスト日の丸掲げて涙の光る　福田キヨ子
新鮮な魚の並ぶ道の駅夕餉のメニューはカルパッチョにせむ　白石　信子
亡き夫の命日知るや明時を孔雀さぼてん二輪が開く　桑野　昭子
秋立ちて炎暑の続く道の端に針金のごとき蚯蚓のミイラ　福田　昌

方城句会　池田一歩選

新涼の風の窓より朝餉かな　長尾　冴子
島の昼踊櫓のひつそりと　長末　耕一
ヴィクターの犬透けて見ゆ夏暖簾　藤井耿之介
ようやつと峠越えたる残暑かな　渡邊　一枝
片隅に声寄り添ふて蟲しぐれ　尾崎　和子
秋の夜の虚空にひびく大太鼓　木村　誠一
独り居の狭庭に出て十日月　倉石嘉代子
秋暑し湯の花小屋の噎せ返る　白石　凡子
毬栗のさ緑活けて客設け　杉　フジエ

福智の風

▶食と器と音楽をテーマに、今年3月に初開催したフクチ・ファインド・フェスティバル。その第2弾が前回よりパワーアップして開催されることになりました（P1-7）。前回は1日だけ、しかも約2時間半で700人以上が詰めかけたビッグイベントだけに、今回がどれほどになるのか今からワクワクすると共に、広報係としてハラハラしています。（久原）

▶暑さがようやく身を潜め、秋の足音が聞こえてきました。よく「芸術」や「スポーツ」の秋といいますが、みなさんは「何」の秋ですか？今年の私は断然「食欲」の秋。特集にもあるとおり、今秋は名店の数々が福智町に大集合します。取材がてら、全店制覇計画を画策中。みなさんもぜひ、「はし」をいや、「足」を運んでくださいね。（相原）

写真が語る 今昔 なつかしの写真館

方城・後谷地区の運動会
提供者●植田 辰生さん
撮影日●昭和33年

吊り下げられた蚊取り線香でタバコに火をつける競技。成人男性の平均喫煙率が80%を越え、喫煙者が一番多かった、この時代ならではの一風変わった運動会の一幕です。

昔の写真を探しています！
問 総務課広報・広聴係
☎22-0555

インフォメーション&ニュース in FUKUCHI

Gender equality

福智町「親子で楽しむ夕べ」

人形劇で親子共有の感動を

小さな舞台で繰り広げられる壮大なストーリー

毎年、400人以上が詰めかけ、立ち見席がでるほど大好評の「親子で楽しむ夕べ」。今年は熊本県の人形劇団「ファンタジア」が訪れ、2作品を披露します。親子で一緒に楽しみませんか。入場は無料ですので、ぜひご覧ください。ポスターでは「劇団チャパ」と掲載していましたが、「劇団ファンタジア」に変更となりました。

日時▶10月10日㈬ 19：00時開演　入場無料
内容▶人形劇「水くみハンス」
紙人形劇「犬の話」
場所▶福智町同和対策研修センター
問 福智町教育委員会 社会教育係　☎28-2046

Nature experience

弁城小「宿泊体験」

自然体験活動で児童の自立心を育む

弁城小の4年生以上の児童34人が、ふれあい塾で9月11日から3泊4日の日程で「宿泊体験」を行いました。この活動は、自然体験などを通して児童の自立心を育むことが目的。昨年度まで福岡市で2日間の行程で行われていましたが、短期間の活動では、効果が少ないことから、今年から日数を伸ばして、初めて町内で行われました。午前中は通常授業を受け、午後からはカヌーや陶器制作などを体験した児童は「初めて経験することが多かったので、楽しかった」と話し、この貴重な体験を満喫していました。

初めてのカヌー体験に胸を躍らせる児童たち

Repay school

赤池中第10期卒業生が母校にテントを寄贈

赤池中の卒業生が母校に恩返し

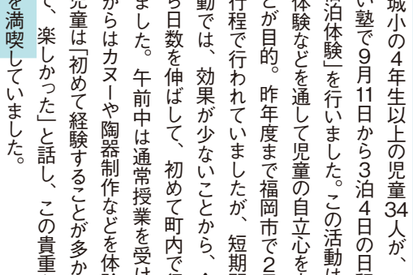
赤池中第10期卒業生（昭和33年卒）の代表者5人が9月11日に赤池中を訪れ、テント一張りを寄贈しました。これまでも寄付や備品の寄贈、校庭の整備など、7回にわたり母校に恩返しを行ってきた同卒業生。仲間が高齢になってきたことで、70歳の古希を迎えた今回をくぎりに、最後の取り組みとなります。「自分たちを育て、導いてくれた母校に恩返しがしたい」と思いが込められたテントを受け取った、白石俊幸校長と田口大成生徒会長は「大切に扱い、行事などで役立てていきたい」と感謝の言葉を述べていました。

母校への思いを込めて寄贈する卒業生

Puppet play

「男女共同参画社会の実現とワークライフバランス」講演会

男女共同参画社会を目指して



男女が平等に充実した生活が送られるように

「仕事も子育てもどちらも大切。充実した生活を送りたい」など、現在、男女を問わず仕事と子育てが両立できる職場環境づくりが求められています。このような状況を踏まえ、町ではワーク・ライフ・バランスをテーマに、九州大学大学院経済学研究院准教授・遠藤雄二さんを講師に招き、住民と企業を対象とした講演会を開催します。この機会に、仕事と家庭の調和推進について考えてみませんか。皆さんの参加をお待ちしています。

日時▶10月24日㈬ 14：00～15：30
場所▶方城分館2階　入場無料
問 福智町役場 総務課 広報広聴係　☎22-0555